

今月の

用語

## 隣に伝えたい 新たな言葉と概念

### 【JANIS】

英 Japan Nosocomial Infections Surveillance

略 JANIS

院内感染対策サーベイランス事業（Japan Nosocomial Infections Surveillance；JANIS）は2000年7月より開始された厚生労働省医政局指導課の事業である。事業の目的は国内の院内感染発生状況、薬剤耐性菌の分離状況及び薬剤耐性菌による感染症発生状況の調査と情報提供である。参加医療機関は原則として200床以上の施設が対象となり、現在約1000施設が参加している。また、平成26年度診療報酬改定で感染防止対策加算の「感染防止対策加算1」の施設基準において一部改定があり、JANIS等、地域や全国のサーベイランスに参加していることが求められている。サーベイランスの対象は目的により以下5部門に分かれている。各部門の集計解析されたデータの確認や比較を行うことで様々な院内感染症の発症状況のベースラインの把握ができるため、耐性菌の拡大状況、感染症発症患者の減少または発生率低下の対策立案に繋がる。

〈サーベイランス部門とその目的〉

- 1) 検査部門：主要菌種・主要な薬剤耐性菌の分離状況を明らかにする
- 2) 全入院患者部門：全入院患者を対象とし、主要な薬剤耐性菌（MRSA, VRE, MDRP, PRSP, VRSA, MDRA）による感染症の発生状況を明らかにする
- 3) SSI 部門：手術部位感染の発生状況を明らかにする
- 4) ICU 部門：集中治療室で発生する3種類の院内感染症（人工呼吸器関連肺炎、カテーテル関連血流感染症及び尿路感染症）の発生状況を明らかにする
- 5) NICU 部門：新生児集中治療室で発生する院内感染症の発生状況を明らかにする

（国立病院機構東京医療センター 抗菌化学療法認定薬剤師 木村有揮）  
（本誌509pに記載）